

順心病院だより

2012
11
vol.11

きずな

<http://www.junshin.or.jp/>

順心病院の理念

「地域医療のために全力をつくす」

安心と信頼
の医療

病院の
基本方針

救急医療と
地域連携の充実

明るく元気な職場

広報紙『きずな』へのご希望・ご意見を
<http://www.junshin.or.jp/>または
F a x でお寄せ下さい。



週刊ダイヤモンド誌 10/27号で「脳梗塞の治療数が多い病院」全国1位として紹介されました。

平成24年10月1日 新順心病院オープン

新順心病院は、この10月1日に皆様のおかげをもちまして無事オープンいたしました。

手術と脳血管内治療を1つの部屋で行えるハイブリッド手術室や、緻密な診断を可能にするMRI3・OT・1.5T 2台の新機器を導入いたしました。また建物の構造も、救急を受け入れる入り口から、検査室、手術室までの導線を一本化しています。



こうした数々の取り組みで、救急患者をより迅速かつ的確に治療できるようになりました。24時間断らない病院として「脳卒中のセンター化」を目指して今後とも患者様に安心と納得のできる医療の提供に努めてまいります。

順心病院消化器センター



副院長、消化器センター長 橋本 可成

略歴は宮崎医科大学1983年卒、神戸大学第1外科入局、以後加西病院、加古川市民病院、三田市民病院、譜久山病院、大阪府済生会中津病院、三菱神戸病院などで研鑽、現在日本大腸肛門病学会評議員、日本消化器内視鏡学会学術評議員、日本消化管学会代議員、日本消化器病学会近畿支部評議員、近畿外科学会評議員、平成5年度日本消化器病学会奨励賞受賞、所属学会は日本外科学会（指導医、専門医）、日本消化器外科学会（指導医、専門医）、日本大腸肛門病学会（指導医、専門医）、日本消化器病学会（専門医）、日本消化器内視鏡学会（指導医、専門医）、日本消化管学会（胃腸科専門医）、日本臨床外科学会、臨床肛門病研究会

本院が平成24年10月1日新築オープンするに当たり、従来の脳神経外科に加え、脳卒中センターと消化器センターが併設されることになりました。消化器センターは小生が中心となり、最新鋭の機器を充実させ、消化管中心の医療を提供することとなります。消化管と言うのは食べ物が口からは入り、肛門から出ていくのですが、そのすべての道のことを言います。但し口は歯科口腔外科領域、咽頭喉頭は耳鼻科領域ですので、厳密に言えば食道から胃、十二指腸、小腸（上部の空腸と下部の回腸に分かれます）、大腸、肛門が消化管ということになります。消化器内科の領域と重なりますが、消化器内科は肛門疾患を診てくれませんので、肛門疾患をカバーした消化管全体を診る科と考えて頂ければ結構です。近年、肛門疾患の治療も変化し侵襲の少ない治療法が開発されています。例えば、痔核ですが、以前であれば、手術療法が第1選択で、術後の疼痛のことを考えると、退いてしまう患者様が多かったような感がありますが、最近開発されたジオン注を用いた4段階注射法による内痔核硬化療法ではほとんど痛みを感じることなく、手術とほぼ同等の成績を得ることが可能です。但し医師誰でもが行える方法ではなく、日本大腸肛門病学会に属した内痔核治療法研究会での講習を受講し受講証明書を取得した肛門専門医のみが行える治療方法です。本院では小生が兵庫県で最初に取得した4人の1人であり、豊富な経験がありますので、気軽に受診していただければ幸いです。また、痔ろうや直腸脱、裂肛などで困っておられる方もどうぞ遠慮なく御相談ください。適切な治療方法を考えてゆきたいと考えています。肛門疾患とともにもう一つの柱は炎症性腸疾患（IBD）です。IBDには潰瘍性大腸炎（UC）とクローン病があり、難治性炎症性疾患で厚生労働省の難病に指定されています。本院では外来治療室を備え快適な環境下に化学療法を受けていただく施設を併設しました。IBDのインフリキシマブ治療（レミケード）と肛門疾患治療は切り離せないもので、両方を当施設で加療することが可能となりました。さらに、内視鏡室を充実し、最新の機器をそろえることができました。NBIシステム、拡大観察などの診断の最先端技術とともに吐血、下血などの内視鏡的救急医療にも応用できる機器を充実させました。人的配置の問題が少し今からのものがありますが、近い将来充実する予定です。



順心会
求人サイトのご案内

<http://www.junshin-recruit.jp/>



脳血管内治療について



片山 重則
(かたやま しげのり)

徳島大学医学部卒業 神戸大学医学部脳神経外科、兵庫県立成人病センター脳神経外科、西神戸医療センター脳神経外科、福島孝徳記念病院脳神経外科など。

脳血管内治療とは、カテーテル（管）を使って行う治療です。足の付け根に針を刺して血管にカテーテルを入れ、最終的には頭の中の血管に0.5mmほどの細いカテーテルを誘導します。血管は体の中にあるため細いカテーテルを体の外から見ることはできませんが、これを見えるようにするのが血管撮影装置です。これまで脳神経外科の治療は頭を開けることが中心でしたので、血管撮影装置もある程度血管の走行が判断できる（診断）だけの機能で十分でした。

ところが、最近では頭を開けずにカテーテルで行う手術（脳血管内治療）が行われるようになりましたので、それを安全に行うだけの機能が血管撮影装置にも求められるようになりました。

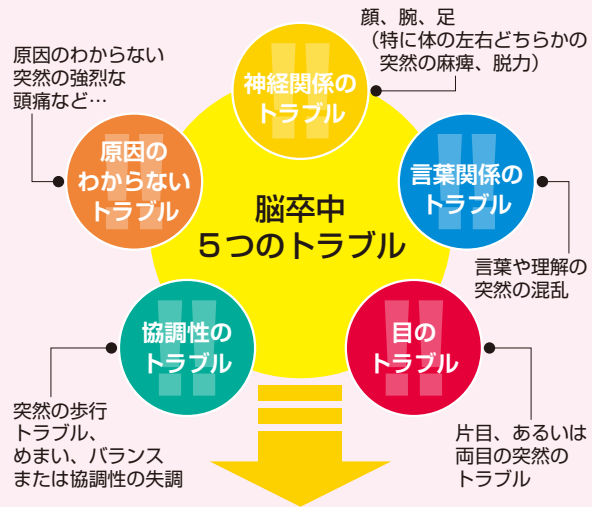
代表的なものとして、脳血管を三次元的（立体的）に描出する機能があります。これは撮影されたデータを元にワークステーションで血管を立体的に見られるようにする機能です。三次元的に再構成された画像を元に、個々の患者様に最適な治療戦略を立てることが可能です。また、ロードマップといって、血管の地図に沿ってカテーテルを進めることが出来る、ちょうどカーナビゲーションのような機能も備えています。血管撮影装置を使ってCT撮影を行うことも可能です。

順心病院では、これらの機能を備えた最新の脳血管撮影装置を導入いたしました。機能の充実した機械を用いれば、より確実かつ安全な治療を行うことが可能となります。足の付け根に針を刺すだけの傷で済みますので、患者様の体への負担も少なくて済みます。

順心病院では、現在日本でできる脳血管内治療のすべてを患者様に提供することが可能です。対象となる主な疾患は、破裂脳動脈瘤（くも膜下出血）・未破裂脳動脈瘤・脳動静脈奇形・内頸動脈狭窄症などです。順心病院を受診される患者様に良質な脳血管内治療を提供できるよう努めて参りたいと思います。



脳卒中の警告サイン



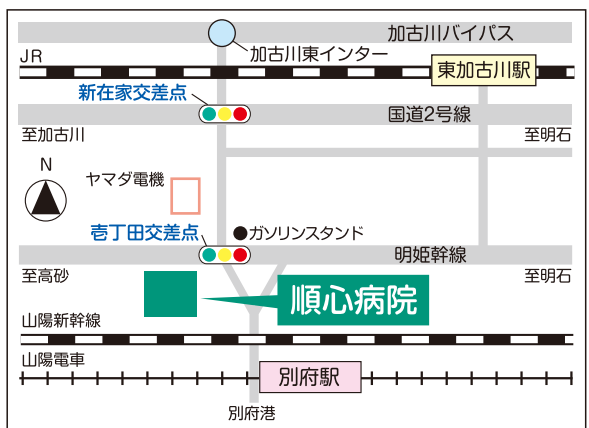
これらの症状が出たら3時間が勝負です
すぐに**順心病院**へ
順心病院は24時間対応で
「脳卒中のセンター化」を目指しています



■ ロゴマーク ■
順心病院の建て替えを機に、順心会のロゴマークが変わりました。
順心会グループが今後も皆様に寄り添うかたちで貢献できるよう、普遍的でわかりやすいデザインとしています。

看護師募集

救急医療と一緒に頑張っていただける看護師を募集しています。
お問い合わせは、順心病院・弁野まで。



順心病院外来医師担当表 平成24年10月1日現在

受付は開始30分前から終了30分前まで

科目	曜日	担当医	備考
脳外科	月	栗原 川口	
		桑潤 桑原	
	火	桑潤 桑原	
		川口 村田	
	水	栗原 川口	
		川口 村田	
	木	黒田 西崎	第3週のみ
潤井 川口		9時30分開始 9時30分開始	
金	栗原 川口		
	川口/桑村		
外科	月	高瀬 担当医	
	火	岩崎 遠山	
	水	橋本	
	木	橋本	
	金	担当医/橋本	受付11時まで
内科	火	兼子 兼子	
	水	大松 小柴	9時30分開始
	木	小溝 堀尾	
	金	溝口 溝口	
	土	小畑 四宮	10時開始 受付11時まで
循環器科	月	溝口 溝口	
	金	小畑 四宮	
耳鼻科	火	四宮	
	木	岡	
小児科	土	担当医	
肛門外科	土	堀尾	
皮膚科	月	橋本	
肝・胆・膵	火	神吉	
	土	具	午前中予約診のみ

脳外科	月	川口/内橋	内橋は17時から
	火	桑村	
	水	栗原 川口	
外科	木	黒田/鶴山	
	金	担当医	
整形外科	火	橋本	
	水	岩崎 山本	
内科	月	藤田 高田	16時30分開始
	水	山本	
	木	大松 溝口	
循環器科	火	大松 溝口	受付17時30分まで
	金	小畑	
	水	小畑	16時30分開始

※担当医師により診療時間の変更や休診の場合もありますので、あらかじめお電話でご確認ください。

(脳神経外科は随時24時間対応)

順心病院への交通のご案内

- 交通機関ご利用の方
 - 山陽電鉄別府駅下車、北へ500m
 - JR東加古川駅下車、タクシーで約15分
東加古川駅前より播磨町行きバスにて壱丁田バス停下車、南へ100m
※バスの便が少ないのでタクシーをお勧めします
- 車をご利用の方
 - 加古川バイパス加古川東インターを降り南(別府港方面)へ2km
壱丁田交差点を右折し西へ100m
 - 明姫幹線壱丁田交差点を西へ100m